



にし
虹のかけ橋
はし

第 36 号

発行 校長

読み聞かせボランティアの皆さんありがとうございます

11月17日(金)「すずめの巣」「そよ風」の皆さんが、1～3年生のために読み聞かせをしてくださいました。ここ数年、コロナ禍のためになかなかお願いできなかったのですが、それぞれ1学年1時間ずつ、たっぷりとお話を聞かせてくださいました。

聞いている子どもたちも、その臨場感たっぷりの話し方に引きつけられ、食い入るように本を見ておりました。しっかりと心の栄養になりましたね。ありがとうございました。



～年長さんが遊びに来てくれました～

21日(火)岩谷保育園の年長さんが本校を訪問し、1年生と一緒に遊びました。生活科で作ったおもちゃの遊び方を紹介し、お世話をしながら交流を深めることができました。入学したら、また一緒に仲良く遊ぼうね。



～大内小の6年生と交流しました～

21日(火)6年生はバスで大内小に向かい、来年一緒に入学する6年生同士で交流を深めました。岩城少年自然の家の職員の方が、様々なゲームを用意して下さったおかげで、よそよそしかった子どもたちも徐々に打ち解け、帰る頃には、もうすっかり友達気分で手を振ってお別れをしました。入学したら、また一緒に頑張ろうね。



「家族のきずなエッセイコンクール」より

どちらの作品も、自分の心の移り変わりを書き表しています。落ち込んでいたときに支えてくれたのは、やっぱり一緒に住んでいる家族なのです。

入 選

私は、野球部に入っています。入部したときの私は、力が弱く、長打は打つことができませんでした。でも、お父さんに「長打を打たれ」と言う、「練習をつみ重ねれば、打てるようになるよ」と言われました。その日から毎日、素振りとバッティングの練習を続けました。お父さんも疲れているはずなのに練習に付き合ってくれました。5年生になって試合に出ることが多くなりました。4年生のころよりバットに投げたボールが当たるようになっていました。少しでもチームに貢献したいという思いから、お父さんが帰ってくる前に練習を始めた「絶対打つ」という気持ちで打席に立ちました。ピッチャーが投げたボールはど真ん中でした。そのボールに合わせてバットをふるると、ボールはレフトの頭をこえました。その結果は、ツーベースでした。ここまで練習に付き合ってくれたお父さんに感謝の気持ちでいっぱいでした。

感謝のツーベース

岩谷小学校 6年 松永いろは

入 選

ぼくは、三年生のころ少し学校に行きづらくなり数週間早退や休みをくり返してしまいました。そして家でねたりすぎな時間に勉強やゲームをしてました。でも心の中では学校に行つた方がいいと知っていたのに勇気なく行けませんでした。心配していた母は、色々な所につれて行ってくれ自信をつけてくれました。ぼくはとつてもたのしくて「学校にも行けるかも。」と思いました。母は、「午前でも行ってみたらどう。」と提案してくれました。ぼくは勇気を出して学校に行きました。なにも変わらなかったのに何か変わったような気がしたんです。コップに勇気を注いだように。何度も学校にいくうちに勇気がたまって午後も行けるようになりました。

勇気を注いだコップ

岩谷小学校 6年 初瀬 瑞月

朝夕とすっかり寒くなってきました。子どもたちも、登下校の際にも手や耳が冷たく感じると思います。帽子やイヤーマフラーなどの防寒具の準備をお願いします。ポケットに手を入れた状態は思わぬケガにつながりますので、手袋の着用をオススメします。